

令和8年度佐賀県中学校総合体育大会  
( ソフトボール ) 競技 申し合わせ事項(案)

○ 熱中症対策について（全競技）

※休憩時間・休憩及び給水タイムの設定や回数等

- ① 2回・4回・6回終了時に休憩時間（3分間）を設定する。（7回終了後は2回ずつ。）  
その際、監督、コーチおよび保護者などが選手と打ち合わせをすることは一切できない。
- ② 1回の守備時間が20分間を超えた場合、全選手がベンチに戻り3分間の給水時間を設定する。その際も打ち合わせは一切できない。投球練習はせずに再開する。
- ③ 連続して試合を行うチームは試合終了後、次試合開始まで最低でも60分時間をあける。  
（30分は涼しい場所で完全休養を取る。）
- ④ ベンチでは、座って応援をする。（監督会議で顧問に通知して徹底させる。）

○ 熱中症対策のためのルールや競技方法の変更について

※7月集中開催屋外競技（軟式野球・ソフトボール・ソフトテニス・サッカー・相撲）

※気温や暑さ指数（WBGT 値）が危険域に達した場合など総合的に判断し、適応する

- ① 当日朝に熱中症警戒アラートが発令された場合、上記熱中症対策に加え、シートロックを中止する。
- ② 上記の判断は当日朝の監督会議前に種目会長、救護、専門部で確認を行い、監督、審判に通知する。

○ 連絡・確認事項について

- ① 試合開始時刻40分前までにオーダー用紙を提出する。
- ② ベンチ入りは試合開始時刻30分前とする。（シートロックを実施するため。）
- ③ 鳴り物による応援、バックネット後方からベンチ後方にかけての観戦・応援を禁止する。
- ④ コーチズボックスの一方に、監督・コーチが入ることを可とする。ただし、その際のベンチ内には、引率責任者、監督、コーチのいずれかが必ずいること。
- ⑤ バックネット裏およびセンター方向からの撮影を禁止する。
- ⑥ ファールボール等による事故については、選手及び観戦者を問わず主催者・管理者は一切の責任を負わない。車の駐車、物品等についても同様とする。
- ⑦ AEDの設置場所は本部テントとする。
- ⑧ 落雷事故の防止対策として、雷鳴がかすかにでも聞こえたらすぐに競技を中断する。  
競技再開は、最後の雷鳴が聞こえてから30分後とする。
- ⑨ 落雷時の避難場所は、東原庁舎中央校体育館内とする。
- ⑩ 選手のサングラスの使用を認めるが、安全に配慮すること。
- ⑪ ゲーム中の控え選手のピッチング練習は、ファール地域で1組のみとする。  
捕手は必ずマスクを着用すること。